



# THE COCOA SNAPSHOT

22/23年度中間レビュー

## ココアホライズンとは

自然や子どもたちを守る自立したコミュニティを作り、カカオ生産者の繁栄を促進することをビジョンとした成果重視型のプログラムです。

ココアホライズンは:

- 非営利団体
- 第三者による検証済み
- 収入と方法論の高い透明性
- カカオの課題解決や今後への対応
- 成果にこだわる



コートジボワール、ガーナ、カメルーン、ナイジェリア、ブラジル、エクアドル、インドネシアで活動しています。

ココアホライズン財団とパートナーシップを組むことで、持続可能な開発目標を支援することができます。

<https://www.un.org/sustainabledevelopment>



## 2022/23年度中間ハイライト

253,193

登録済みの生産者の数

16%

プログラムに参加する女性生産者の割合

121,972トン

ホライズンカカオの豆換算販売量  
(前年比9%増)



### 生産者の繁栄

76,253

ファームビジネスプランを受け取った生産者の数  
(前年比9%増)



### コミュニティと子どもの保護

178

児童労働を監視するシステムを導入している生産者グループの数  
(前年比4%増)



### 自然を豊かに

133,907

全区画をマッピングし、そこで生産したカカオを出荷している生産者の数  
(前年比40%増)

収穫前作業を通じてカカオ生産者の収穫量増加を支援する労働チームを派遣しています。

子どもの保護に関する持続的な変化を可能にするため、個人へのアプローチに加え、コミュニティ中心のアプローチへの注力を強化しています。

生産者がカカオの収量を向上させ、収入を多様化させるとともに、炭素を回収し、生物多様性を高めるためのアグロフォレストリーを加速しています。



# 生産者の繁栄

## トレーサビリティ

196,449の生産者がホライズンカカオを出荷（前年比41%増）

 116,327 コートジボワール	 1,212 ブラジル
 58,951 ガーナ	 3,028 インドネシア
 12,927 カメルーン	 1,166 エクアドル
 2,838 ナイジェリア	

ホライズンカカオの大半は、生産者から最初のプログラム実施者の倉庫までを追跡するマスバランスの原則に従っています。ホライズンカカオは、セグレーションされたカカオマスとしても入手可能です：[ココアホライズンインサイド](#)

デジタル決済は、生産者へのプレミアム支払いをより迅速かつ効率的に行うために導入されました。

CLARISSE（カメルーンのカカオ生産者）

"デジタル化のおかげで、プレミアムを予定通りに受け取ることができるだけでなく、自宅にいながらプレミアムを全額受け取ることができるので、交通費もかからなくなりました。取引先の倉庫で支払われた現金を持って動き回るのに比べれば、自分の携帯電話でお金を受け取れる方が安全だと思います。引き出し手数料もプレミアムに含まれているので、プレミアムを全額受け取ることができます"

## ココアホライズンアカデミー

今年は15,162人の生産者が卒業を迎え、個別指導の段階に進むとともにファームサービスの利用が可能となりました。

生産者の卒業により、生産者の知識、トレーニングの成果、ギャップを評価し、生産者向けフィールドスクールからコーチングにリソースを再投入することができます。卒業試験では、適正農業規範、社会的側面、環境的側面などが扱われています。

合計で227,212人の生産者が卒業しました。



## ファームサービス

## 革新的な

## 収穫前アプローチ

76,253の生産者がファームビジネスプランを利用（前年比9%増）

ファームビジネスプランは、生産者とそのコミュニティの生活を向上させるプロセスの要です。

5,098の生産者が生産性向上パッケージを受け取りました。

コートジボワールとガーナの生産者6,000人が収穫前労働の恩恵を受けています。

生産者は作業時間の70%を収穫後の活動に費やし、収穫前の活動にはわずか30%の時間を割くのみで、投資はほとんど行われていないか、皆無です。収穫前の活動に対する投資は、生産性を向上させる上で不可欠です。そこで私たちは、生産者への収穫前労働の支援を開始しました。

56,826本のカカオ苗を配布（前年比46%増）

植え付け資材の配布は、私たちのアプローチに欠かせない要素です。これによって農園を若返らせ、収量と収入を増やすことができます。

貧困問題への取り組みは、長期的な投資を促進するために生産者が土地の権利を確保できるよう支援することにも密接に関わっています。コートジボワールとガーナで開始された最初のプロジェクトを基盤として、私たちはこのアプローチを拡大するために学びを集約しています。





# コミュニティと子どもの保護

## 子どもの保護：リスクに基づくアプローチ



178の生産者グループが児童労働の監視システムを導入。

リスクに基づくアプローチを適用：カカオ生産者のコミュニティは、社会経済センサスデータとアルゴリズム（CLMRSの活動から得た知識を活用）に基づいて、**低リスク**、**中リスク**、**高リスク**に分類され、実施の優先順位を決定します。その後、特定されたリスクと子どもやコミュニティのニーズに従って、介入策を計画し、優先順位付けを行います。

このアプローチでは、子どもたちを守るために最も効率的な方法で資源が投入されます。

- 19,502世帯を調査
- 31,529人の子どもが調査対象となり、9,888件が特定されました。これは、聞き取りをした子どもの69%が児童労働に関与していなかったことを意味します。
- 28,450件が過年度に確認されたケースであり、現在、改善の取り組みが進められています。

学校用具の配布や啓発活動などの**改善の取り組み**は、子どもの保護に貢献しています。



CAROLE（コートジボワールの児童保護コーディネーター）

"東部地域に学校に行っていない少女がいました。彼女のを知り、ブリッジング・クラス・プログラムに参加させたところ、とても成績が良かったので、すぐに一般の学校に入学させました。彼女は優秀な生徒として試験に合格しました。これは私たちの素晴らしいサクセスストーリーのひとつです"

## コミュニティ中心のアプローチ

**コミュニティアクションプラン**、**VSLA**、**収入創出活動**、**啓発活動**は、個別的なアプローチに加え、改善をさらに持続させ、違反事例の発生を防ぎ、持続的な変化をもたらすことを目的とした、力を持ったコミュニティを作るための手段です。



カメルーンでは、生産者コミュニティに対し、**ラジオ番組**を通じて啓発活動を行っています。コートジボワールでは、**ココアホライズントラック**がコミュニティを訪れ、地元の保健当局と連携して啓発活動や医療訪問を行っています。

今年、コートジボワール、ガーナ、インドネシアで**375**のVSLAが設立・統合されました。すでに設立されているVSLAが活動を推進できるよう支援します。

女性のエンパワーメントは、児童労働の防止や家計の改善に好影響を及ぼします。今年、39,938人の女性がココアホライズンの生産者に登録されました。

**村落貯蓄貸付組合（VSLA）**の設立と強化は、特に**女性のエンパワーメントアプローチ**の促進、**自信の醸成**、**メンバーへの資金調達ソリューション**の提供に貢献しています。VSLAのメンバーの58%は女性です。



## 女性のエンパワーメント





# 自然を豊かに

## 森林保護、回復、啓発

現在、**110万本**のシェードツリーが育成過程にあり、今後数カ月での配布を予定しています。



カカオが保護区で収穫されたものではないことを確認するための農園のマッピングに加え、カカオ生産者コミュニティとともに、環境保護のための啓発、アグロフォレストリー、森林回復といった複数の活動を実施しています。例えば、2021年に開始されたコートジボワールのアグボプロジェクトでは、すでに300ヘクタールの森林回復に貢献しています。



KOFI（ガーナのカカオ生産者）

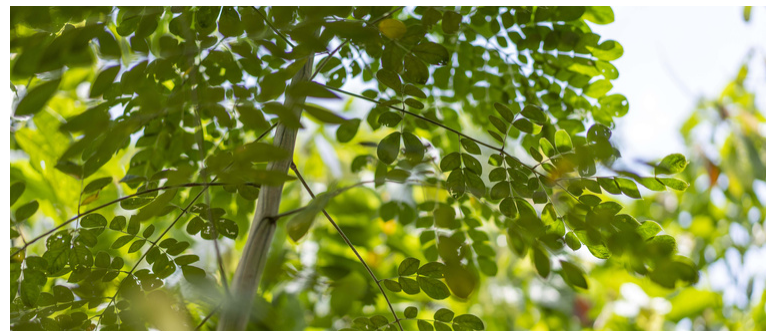
"降雨量が一定になるように、森林を保護し、シェードツリーを植えることが重要です。最近、雨が降るはずのときに降らないということがあります。シェードツリーで私が気に入っていることのひとつは、暑い午後に農園から戻って来たときに、木の下に座ってリラックスできることです。"

## 強靱なアグロフォレストリーシステム



私たちのアグロフォレストリーのアプローチでは、各農場の明確な診断と強力なコーチングを通じて生産者を支援するとともに、生産者は高い生存率を達成するためのインセンティブとして生態系サービスに対する支払いが受けられます。

大規模なアグロフォレストリーシステムを導入することで、生産者は生物多様性の促進、カカオ収穫量の向上、病害虫の減少、追加収入源の提供、炭素の吸収を実現することができます。今年には12,000ヘクタールでこのシステムを導入しています。



こうしたすべての活動は、二酸化炭素の削減と除去の達成に貢献しています。



## 今後の見通し



私たちは今後も、**収穫前アプローチの展開、土地情報の確保、アグロフォレストリーシステム**の拡張を継続し、生産者の生産性と収入を全体的に向上させます。財団の挑戦はこれからも続きます：

- より効率的な活動を推進するために、**100%完全なデータ化**を達成します。
- 国を超えて**人権デューデリジェンス**を強化します。
- 児童労働という制度的な問題に対処するため、**コミュニティを中心とした強力なアプローチ**に重点を置きます。
- 生産者が**収穫量と収入を増やすことができるよう、労働チーム**を派遣します。
- **科学的根拠に基づく目標イニシアティブ**に沿った炭素削減目標に向けて、**アグロフォレストリー**を加速させます。
- プログラムの対象を第三者実施機関まで拡大するとともに、既存国ではさらなる強化を図ります。

## 2025年以降の展望

2015年以来、私たちは持続可能なカカオへの需要の高まりに応え、7カ国のカカオ生産者コミュニティとともに**インパクトを拡大し、変化を促進してきました。**

私たちのアプローチは、**試験的に実施し、評価し、適応させ、意味のあるインパクトを生み出すために大規模に展開**することです。過去数年にわたり、私たちは何が効果的で、何を改善すべきかについて**データを収集し、学習**してきました。

**サステナビリティをめぐる状況は、有効な政策環境の整備や市場の期待の高まりとともに進化**してきました。

これらすべてが、**私たちのコミットメントをより鮮明にし、より大きなインパクトを生み出し、2025年以降を見据えたアプローチを見直す機会**となります。

**自然、子どもたち、そして人権を守る自立した生産者コミュニティを構築**するために、**私たちが新たに掲げたコミットメントとアプローチ**について、近日中にお伝えする予定です。



国連 SDGs に関する免責事項:  
本書の内容は、国連によって承認されたものではなく、国連または、その職員もしくは加盟国の見解を反映するものではありません。